

教材教員および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
パステルアート	中	つくる （美術）	近泉



<ねらい>

工程に見通しを持ち、材料や用具（パステルやコットン）を工夫して扱い、パステル独特の風合いや技法（ステンシル）特有の表現を楽しむ。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ①水色、青色、藍色のパステルを金網で削り、粉状にする。
- ②水色のパステルを、コットンで画用紙全体にムラ無く塗り拡げる。
- ③青色のパステルを塗り重ね、海の中の深さを表現する。
- ④藍色のパステルを使い、イルカやエイなど好きな形をステンシルしていく。
- ⑤練り消しゴムで、光の筋や気泡などを入れる。

ステンシルのパターンは、クリアファイルを使って作成した。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

使う色数も少なく、パステルで画用紙全面を塗り込むという単純な作業は、生徒にとって取り組みやすい作業であったと思う。

ステンシルのパターンを数種類用意したことで、自分の好きな物を好きな場所に配置して表現する様子が見られた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

パステル、コットン 画用紙、クリアファイル、練り消しゴム